

【ご参考資料】

2017年4月28日

野村アセットマネジメント株式会社



## 「米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース/Bコース」

### 今、選ぶべき米国株ファンドとは

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年後半より、世界金融市場において、米国株の成長力に対し、これまで以上に注目が集まる局面が続いてきました。しかし足元では、米トランプ政権の政策の実効性に対する不透明感や、地政学的リスクの高まりなどにより、米国株式市場において不安定な動きも見られます。

当資料では、相場の先行きが見通しにくい時期に米国株ファンドを選ぶ際のポイントをご紹介します。また、「米国バリュー・ストラテジー・ファンド」(以下、ファンド)の特徴についてご説明していきます。

## 当資料の内容

### 米国株ファンドを保有する意義

・・・P2

米国経済は堅調に推移しており、米国の企業業績は増益見通し

### 今、選ぶべき米国株ファンドとは

・・・P3～6

#### ポイント1：リスクが効果的に抑えられた米国株ファンドを選ぶ

安心して資産を保有し続けることができれば、結果として良好なパフォーマンスを享受できる「優良企業の選別」「バリューの視点」「CB等の活用」で、リスクを抑えながらリターンを確保  
[参考]CB等の活用の効果-バンク・オブ・アメリカの例

#### ポイント2：着実なリターンが得られる米国株ファンドを選ぶ-バリュー(割安)投資という選択肢

割安と考えられるタイミングをつかむことによって、相場の局面に関わらず着実なリターンを得る

#### ポイント3：“質の良い”企業に投資する米国株ファンドを選ぶ

持続的に利益を生み出せる米国企業を見極めることが、長期的に良好なパフォーマンスにつながる

### ファンドの基準価額の推移

・・・P7

### アメリカン・センチュリー・インベストメンツのバリュー運用チームについて

・・・P7

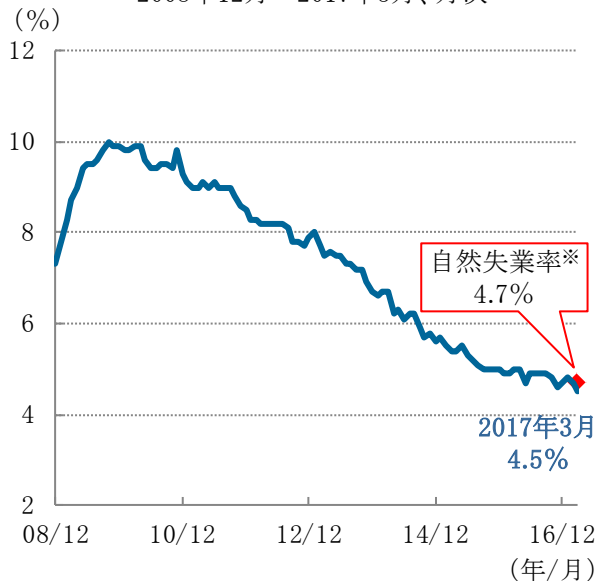
## 米国株ファンドを保有する意義

## 米国経済は堅調に推移しており、米国の企業業績は増益見通し

足元で米国株式市場が不安定になっているものの、市場において米国経済に対する楽観的な見方は変わっていないようです。2017年3月の米失業率(速報値)は4.5%と、約10年ぶりの水準まで改善し、ほぼ完全雇用の状態となっています。このようなマクロ経済環境を受けて、米国企業のEPS(1株当たり利益)は、2017年末、2018年末とも2ケタ成長となる見込みです。企業業績の伸びは企業価値の向上につながるため、いずれ株価にも反映されることが期待されます。米国株式市場を取り巻く環境は概ね良好であると言えるでしょう。

そもそも米国株式市場は、世界経済の成長を取り込み、長期にわたって拡大を続けてきた市場です。世界株式市場の中で米国株の時価総額は半分以上を占めており(2017年3月末現在)、揺るぎない地位を維持しています。この実績を考えれば、資産として米国株ファンドを保有することは有効な戦略と言えます。

＜米国の失業率の推移＞  
2008年12月～2017年3月、月次



※自然失業率とはインフレ率に関係なく一定の水準で存在する失業者の割合のことで、完全雇用が達成される状況にあっても生じるものです。米国議会予算局は自然失業率を4.7%程度と試算しています。  
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

＜米国企業のEPS(1株当たり利益)と米国株の推移＞  
2008年12月末～2018年12月末、月次



米国企業とはS&P500株価指数の構成銘柄が対象。2017年3月末まで実績。予想EPSはブルームバーグ集計の予想値(2017年4月21日現在)。(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 今、選ぶべき米国株ファンドとは

米国株は着実な成長が期待される一方で、短期的には大きく変動する局面もあることから、長期にわたって安心して保有できる米国株ファンドを選ぶことも重要です。今回のように相場の先行きが見通しにくい時期に米国株ファンドを選ぶにはどのような視点が必要か、以下にポイントをご紹介します。

### ポイント1：リスクが効果的に抑えられた米国株ファンドを選ぶ

#### 安心して資産を保有し続けることができれば、結果として良好なパフォーマンスを享受できる

米国株は長期にわたって右肩上がりの成長を続けてきました。しかし、2002年にかけてのITバブル崩壊や、2008年のリーマン・ショック前後には大きく下落し、慌ててリスク資産を売ってしまった投資家が多かったと見られます。後から振り返れば、その時点で米国株ファンドを購入していれば大きなリターンを得られたと分かるのですが、相場急落の最中に購入の決断をするのは難しいでしょう。せめて市場から退出することがなければ、その後の上昇局面を享受することができます。

ファンドと同様の運用体制・方針を持つ参考ファンドのパフォーマンスを見ると、米国株全体と比較してブレが少ないのが分かります。これは「変動を抑え、相場急落から資産を守ることこそが、長期的に良好なパフォーマンスにつながる」という投資哲学を持っているためです。変動が小さければ、安心して資産を保有し続けることができ、結果として良好なパフォーマンスを享受できるという考え方です。

#### <参考ファンドのパフォーマンス推移>

1994年8月末～2017年3月末、月次



リターン(年率)は期間中の累積リターンを年率換算し、リスク(年率)は月間変化率の標準偏差を年率換算して算出しています。標準偏差とは、平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅の度合いを示す数値です。  
 米国株:S&P500株価指数(配当込み、米ドルベース)  
 参考ファンドについてはファンドと同じ運用管理費用(信託報酬相当分の年1.836%)を控除しています。  
 (出所)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### <参考ファンドについて>

参考ファンドとは「米国バリュー・ストラテジー マザーファンド」と同様の運用体制・方針を持つU.S.バリュー・イールド戦略のコンポジットの運用実績(1994年9月1日算出開始)です。よって、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

「優良企業の選別」「バリュアの視点」「CB等の活用」で、リスクを抑えながらリターンを確保

ファンドの運用では、「優良企業(ハイクオリティ銘柄)をバリュア(割安)の視点で選別し、「リスクを抑えるためにCB(転換社債)等を戦略的に活用」することで、効果的にリスクを抑えながらリターンを確保する戦略を採っています。その結果、過去5年間のリスク・リターンを見ると、参考ファンドは米国株や米国バリュア株、米国ハイ・イールド債よりも効果的なリスク抑制ができていたことが分かります。

この運用が評価され、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのバリュア運用チームは、モーニングスターの2016年における米国株のファンドマネージャー・オブ・ザ・イヤーにノミネートされました。

＜参考ファンドのリスク・リターン＞

2012年4月～2017年3月

	リターン (年率)	リスク (年率)	リターン /リスク
<b>参考ファンド</b>	<b>11.1%</b>	<b>7.6%</b>	<b>1.47</b>
米国株	13.3%	10.2%	1.30
米国バリュア株	13.1%	10.7%	1.23
米国ハイ・イールド債	6.8%	5.4%	1.27

リターン(年率)は期間中の累積リターンを年率換算し、リスク(年率)は月間変化率の標準偏差を年率換算して算出しています。標準偏差とは、平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅の度合いを示す数値です。

米国株:S&P500株価指数(配当込み)、米国バリュア株:ラッセル3000バリュア指数(配当込み)、米国ハイ・イールド債:BoFA・メルリンチ・USハイ・イールド・インデックス、すべて米ドルベース。参考ファンドについてはファンドと同じ運用管理費用(信託報酬相当分の年1.836%)を控除しています。前ページの＜参考ファンドについて＞をご参照ください。

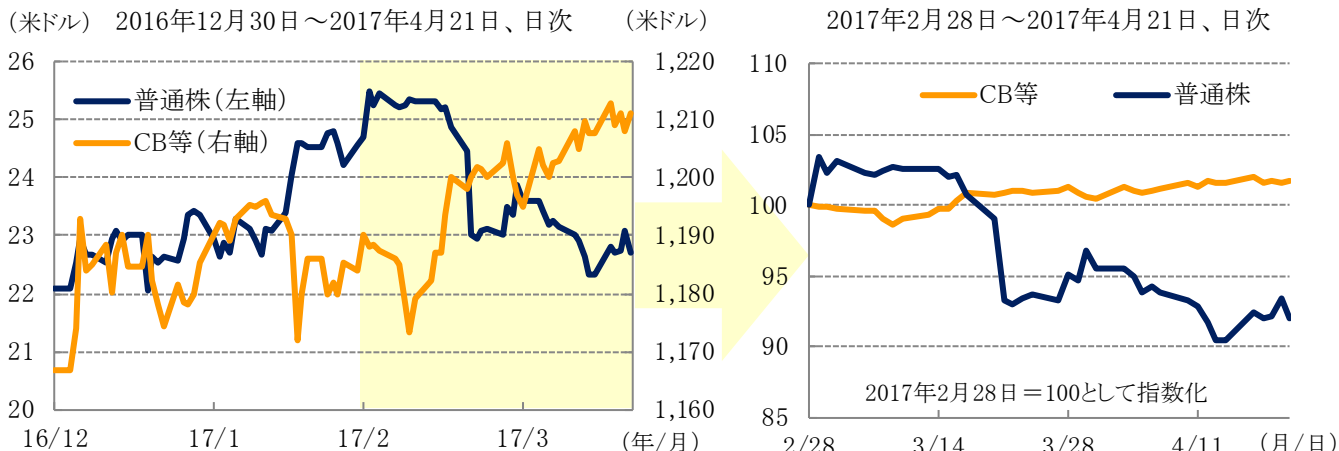
(出所)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

[参考]CB等\*の活用の効果-バンク・オブ・アメリカの例

ファンドではCB等\*を活用し、相場下落の影響を低減しています。例えば、2017年3月後半より、米国の長期金利低下などを背景に米国金融株が下落基調となりました。そのような中でも、バンク・オブ・アメリカについて、ファンドでは普通株転換権付き優先株を保有していたため、同時期においてパフォーマンスはむしろ良好でした。

※ファンドにおいてCB等とは、転換社債、普通株転換権付き優先株、他社株転換社債等を指します。

＜バンク・オブ・アメリカの株価推移＞



グラフの「CB等」は、普通株転換権付き優先株です。

(出所)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## ポイント2： 着実なリターンが得られる米国株ファンドを選ぶーバリュー（割安）投資という選択肢

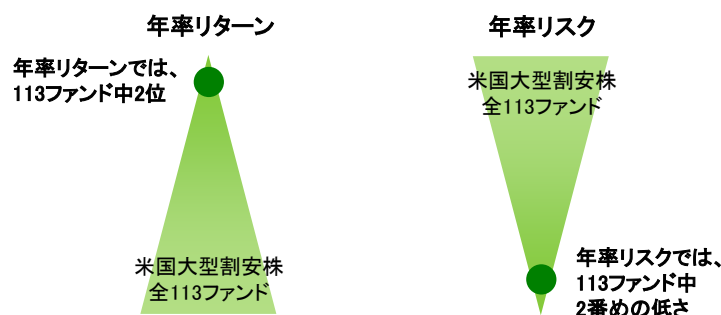
### 割安と考えられるタイミングをつかむことによって、相場の局面に関わらず着実なリターンを得る

相場の先行きが見通しにくい局面において有効な投資戦略として、「適正株価と比較して割安なタイミングで投資をする」という視点があります。いわゆる「バリュー投資」と呼ばれる手法です。短期的に株価の上下があったとしても、いずれ企業本来の価値に見合った株価に落ち着くことが見込まれるため、着実なリターンが期待できます。

ファンドの運用もバリュー投資の手法を取り入れています。「優良企業においても適正株価より低く評価されることがあり、そこに超過収益の源泉がある」という考えを軸としており、短期的な株価の上下は、むしろ投資の好機と捉えます。それによって長期にわたり良好なパフォーマンスを生み出してきました。ポートフォリオ全体のリスクを抑えるため、CB等を一定の割合組み入れています。それでも米国バリュー株全体と遜色のないリターンとなっています。

その結果、ファンドと同様の運用体制・方針を持つ米国籍の投資信託は、米国大型割安株に属するファンドとの比較において、全113ファンド中、年率リターンで2位、年率リスクで2番めの低さとなりました。

### ＜ファンドと同様の運用体制・方針を持つ米国籍の投資信託の同一カテゴリ\*内における運用成績＞ 1994年8月～2017年3月



※モーニングスター社基準において米国大型割安株(U.S. Large Value)に属するファンドとの比較。2017年3月末現在。  
(出所)アメリカン・センチュリー・インベストメンツの提供情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

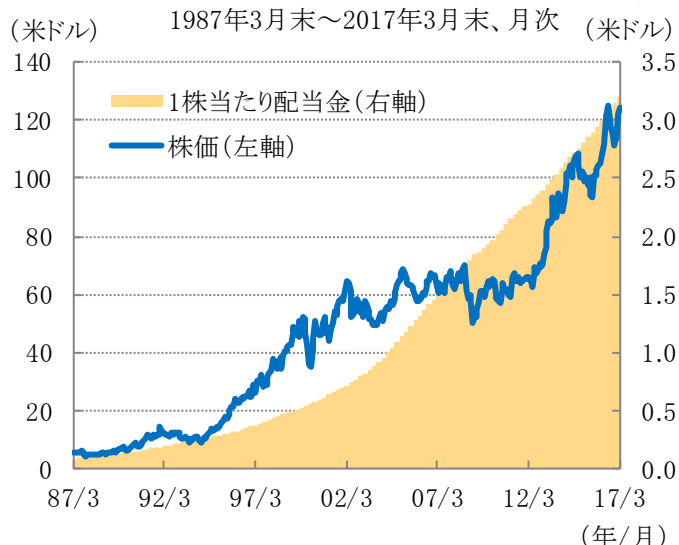
ポイント3 : “質の良い”企業に投資する米国株ファンドを選ぶ

持続的に利益を生み出せる米国企業を見極めることが、長期的に良好なパフォーマンスにつながる

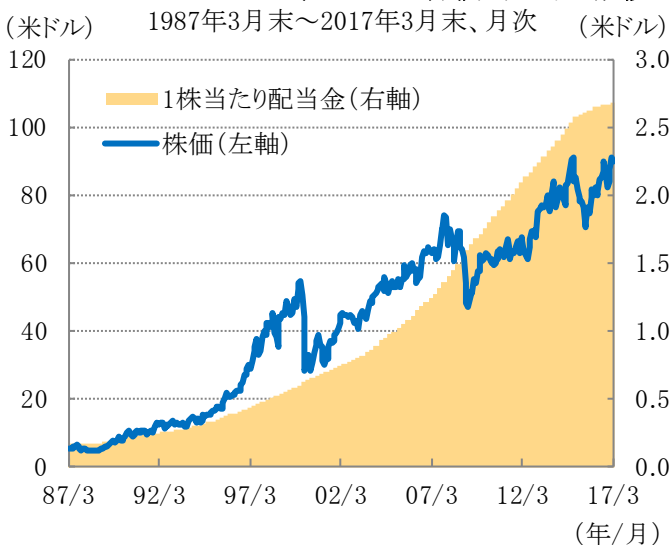
米国株への投資によって長期的に良好なリターンを得るためには、投資する米国企業の“質”にこだわるという視点も重要であると考えられます。短期的に高い収益を生み出している企業に投資をしても、その成長が持続されなければ、長期的なパフォーマンスに寄与する投資にはなりません。

ファンドは、どのような局面でも優良銘柄(ハイクオリティ銘柄)にのみ投資するという姿勢を維持してきました。2017年3月31日現在で、ファンドの組み入れ1位のジョンソン・エンド・ジョンソンは、世界最大級のヘルスケアカンパニーでありながら、総売上高に占める新製品の割合は20%超であり、革新的な新製品を継続的に生み出すことで成長を持続しています。過去30年で株価は約23倍、配当は約37倍に成長しました。同じく組み入れ2位のプロクター・アンド・ギャンブルは、世界最大の日用消費財メーカーであり、パンパースやアリエールなど各分野で強力なブランドを有します。過去30年で株価、配当とも約16倍に成長しました。

<ジョンソン・エンド・ジョンソンの株価と配当の推移>



<プロクター・アンド・ギャンブルの株価と配当の推移>



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<企業の安定性に関する指標の比較>

2017年4月18日現在

銘柄名	S&P社格付	ROE (自己資本利益率)	ROA (総資本利益率)	配当利回り	5年間 配当成長率
ジョンソン・エンド・ジョンソン	AAA	23.1%	11.9%	2.5%	7.0%
プロクター・アンド・ギャンブル	AA-	26.7%	12.4%	3.1%	5.0%
米国バリュー株	-	7.6%	1.5%	2.4%	-

S&P社格付は自国通貨建て長期価格付け。米国バリュー株はラッセル3000バリュー指数の構成銘柄。

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

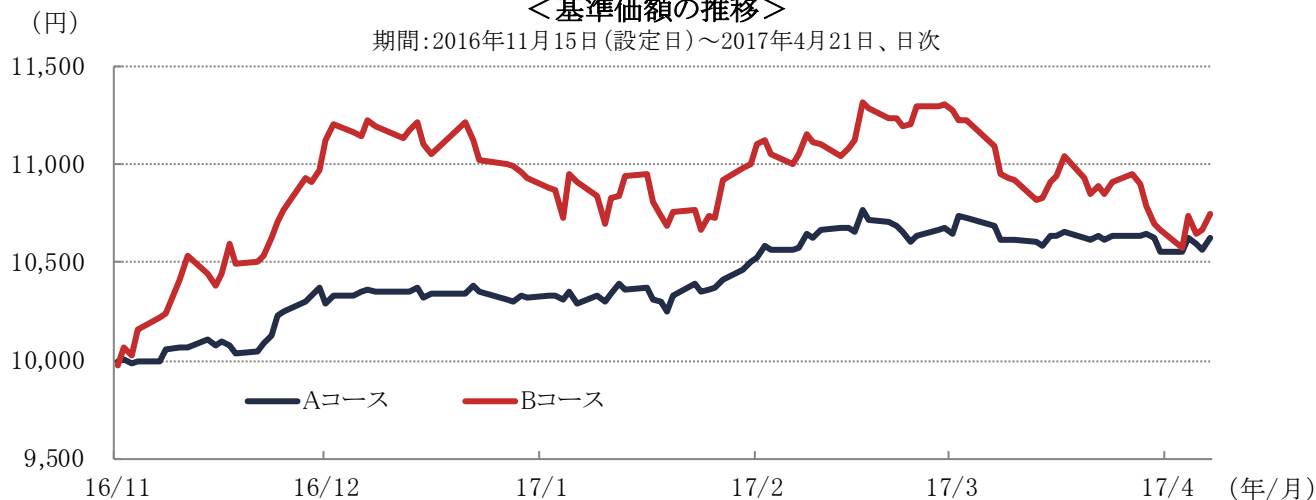
当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## ファンドの基準価額の推移

ファンドの基準価額は、設定日以降、米トランプ新政権への期待などを追い風に概ね上昇しました。2017年3月後半以降、Bコース(為替ヘッジなし)については、米当局者による米ドル高を牽制する発言や、米利上げが緩やかなペースとなるとの観測などから、為替要因により下落しました。

### ＜基準価額の推移＞

期間：2016年11月15日(設定日)～2017年4月21日、日次



上記期間において分配金実績はありません。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## アメリカン・センチュリー・インベストメンツのバリュー運用チームについて

1993年、現CIOのフィル デビッドソンがバリュー株投資の運用チーム(バリュー運用チーム)を立ち上げました。変わることをない「運用哲学」が、長きにわたり着実なパフォーマンスを生み出しています。

《バリュー運用チームの運用哲学》  
**“combination of quality and value”**  
 「ハイクオリティ銘柄への焦点」「バリューの視点での選別」  
 2つの要素を融合。



左から、CIOのフィル デビッドソン、  
クヴェイントニー、マイケル リス

今後とも「米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース/Bコース」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

●S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。●ラッセル3000指数は、フランク・ラッセル・カンパニーの所有する登録商標です。●BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国ハイ・イールド債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 米国の金融商品取引所に上場している企業の株式(DR(預託証券)<sup>※1</sup>を含みます。)を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。なお、投資対象には転換社債等<sup>※3</sup>、上場投資信託証券(ETF)および優先株が含まれます。
  - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
  - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ※3 ファンドにおいて「転換社債等」とは転換社債、普通株転換権付き優先株、他社株転換社債等を指します。
- 株式への投資にあたっては、時価総額、資本利益率および財務体質等を勘案して選定された銘柄に対して、綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ分析を行ない、バリュエーション等を考慮して組入銘柄を決定します。
- ポートフォリオ構築にあたっては銘柄分散に配慮します。また、ポートフォリオの利回り向上、価格変動性の抑制および下値保全等の観点から、組入銘柄の株式への投資に代えて当該銘柄の転換社債等へ投資を行なう場合があります。
  - ◆ 効率的な運用を行なうため、上場投資信託証券(ETF)を活用します。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託する範囲	株式等の運用
委託先名称	American Century Investment Management, Inc. (アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク)
委託先所在地	米国 ミズーリ州 カンザスシティ市

- 原則、毎年4月および10月の27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
  - \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



【投資リスク】

各ファンドは、株式および転換社債(CB)等を実質的な投資対象としますので、当該株式の価格下落、当該転換社債等の転換等対象株式の価格下落や金利変動等による当該転換社債等の価格下落や、当該株式および当該転換社債等の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成39年4月27日まで(平成28年11月15日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則4月および10月の27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2017年4月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.836%(税抜年1.70%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。  
分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>